

沖縄の怒り
全国へ

これが県民の
叫びです

また、元米兵の凶悪事件が

沖縄でまたも米軍関係者による凶悪な事件が起きました。元米海兵隊員が20歳の女性を襲い、死体を遺棄した事件です。沖縄の施政権返還(1972年5月15日)後、昨年までに米軍関係者の刑法犯罪は5896件、うち強姦、殺人、強盗などの凶悪犯罪は574件。12人の県民が殺害されています。

1995年に米海兵隊員3人による少女暴行事件が起きたとき、沖縄県民は8万5千人の県民大会を開き、米軍基地の整理・縮小、米軍に特権を与える日米地位協定の抜本改定を求めました。しかしその後、自民党政府は、米軍普天間基地の県内移設=新基地建設の押しつけに執着し、県民要求に背を向けてきました。➤

基地ある限り犯罪が

——海兵隊は撤去を

➤沖縄には今も約1万5千人の海兵隊員はじめ約4万7千人の米兵・軍属・家族が駐留しています。この米軍基地がある限り、米兵犯罪はなくなりません。在沖米海兵隊総司令官ヘイルストーン中将(当時)は、日夜戦闘訓練を行う米兵に「戦場で攻撃的にさせておいて駐屯地に戻ったら行儀良くさせるのは難しい」(2001年4月15日)と述べています。

在日米軍関係者の犯罪の起訴率は約18.7%。日本の犯罪起訴率38.5%と比べて圧倒的な低さです。米軍に特権を与えるような日米地位協定と、米兵への裁判権放棄の日米密約があるからです。



米軍犯罪の温床

日米地位協定は抜本改定を!

これが沖縄県民の声 琉球新報 6/3 付県民世論調査

- 米軍犯罪の再発防止策は…
- ・全基地撤去 42.9%、・基地の整理・縮小 27.1%
- 在沖縄海兵隊は…
- ・全面撤去 52.7%、・大幅に減らす 31.5%
- 普天間基地の辺野古移設(新基地建設)は…
- ・反対 83.8%
- (国外移設 31.5%、閉鎖・撤去 29.3%、県外移設 23%)

沖縄県民とともにいま、声を

いま沖縄県民は島ぐるみで、名護市辺野古への新米軍基地に反対するだけでなく、海兵隊の撤去、米軍基地の縮小・撤去、日米地位協定の抜本改定を求めています。在日米軍基地の問題は日本の問題です。沖縄県民とともに、“もう米軍基地はいらない”の声をあげましょう。

日本平和委員会

2016年6月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277